

小金井市議会初“中学生”への主権者教育を開催 ～議員と話してみよう「政治に興味をもつにはどうしたらいい?」～



小金井市議会では、主権者教育の取組として令和5年から、高校生を対象に身近な政治の場である市議会の役割を伝え、交流してきました。

さらに市議会と市政への関心を高めていただくため、今回は中学生と交流。10月20日、中央大学附属中学校の2年生約170名を対象に出前授業を実施しました。

小金井市議会として中学生向けの授業を行うのは初めてであったため、テーマの選定や説明の分かりやすさには特に配慮しながら進めました。

9:00	開会
9:02	小金井市議会議長 ご挨拶
9:05	こんなところでは小金井市議会
9:20	議員がなんでも答えちゃいます!
9:40	グループディスカッションの説明
9:50	各教室への移動・休憩(20分)
10:10	グループディスカッション
11:10	視聴覚室への移動・休憩(20分)
11:30	意見発表
12:00	閉会

まずは緊張をほぐすアイスブレイク

「議員報酬はどれくらい?」「市議選の投票率は?」といった議会にまつわる〇×クイズや「議員になったきっかけ」「やりがいや心掛けていること」「出馬は大変だったか」など、生徒の皆さんから事前に寄せられた質問にもお答えし、Q&Aを通して、楽しみながら市議会や議員の役割をより身近に感じてもらえる時間となりました。



グループディスカッション

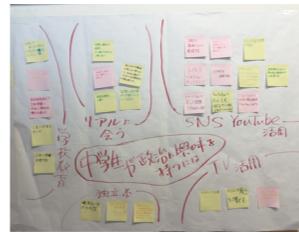
「中学生が政治に興味をもつにはどうしたらいい?」をテーマに各クラスを2グループに分けてディスカッション。

活発に意見が出され、模造紙に沢山のアイデアがまとめられました。



【主な意見】

- ・ SNSの活用や有名ユーチューバーとコラボレーションする
- ・ 投票のデジタル化や投票場所を増やす
- ・ 政治家と直接交流する機会を増やす
- ・ 出前授業等政治を学べる機会を増やす



意見発表

グループごとに話し合った内容を代表者から発表。

他の生徒さんも真剣に耳をかたむけ、参加者全体で学びを共有する貴重な機会となりました。また、議会としても今後の参考となるご意見を多数いただきました。



アンケート結果

授業の前後で行った生徒へのアンケート調査では、議員に対する印象について授業前の「寝ている人が多い」などネガティブな印象から、授業後は「市民のことをよく考えていることがわかった」と印象が変わり、授業の感想として「政治に今まで以上に興味を持つことができた」「自分の市の選挙などについて調べてみたい」と大変好評でした。

友好交流で三宅島へ行ってきました

第26回三宅島産業祭



議長も参加したオープニングセレモニー



あしたばなど、地元野菜が満載



小金井小次郎の井戸

写真1



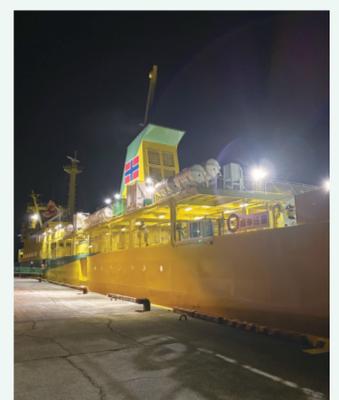
旧阿古集落の旧阿古中学校

写真2

小金井市と三宅村は1978年に友好都市盟約を結びました。以来、毎年、小金井市議会は相互理解と親善を深めるための訪問交流を行っております。今年は、2025年11月14日～16日に市議会から議長及び6人の議員が「第26回三宅島産業祭」に参列し、島内の各所を視察しました。

現在の小金井市中町に生まれた幕末の侠客・小金井小次郎は、喧嘩の罪で三宅島に流されました。しかし、在島中に水不足に悩む島民のために大きな井戸(写真1)を作り、多くの村人に感謝されました。

阿古集落は1983年の噴火により、溶岩流に飲み込まれてしまいましたが、避難訓練の成果もあり、一人の死傷者も出ませんでした。溶岩流のすさまじさと噴火災害の恐ろしさを体感してきました。(写真2)



大型客船 橘丸